

## 弘大の雰囲気感

オープンキャンパス 3年ぶり対面で



煙の中に浮かび上がったレーザー光線を見る高校生ら

リコンの内部に直径30〜40  
センチの空洞を作り、新薬開  
発などに活用する研究を紹  
介。同学部の星野隆行准教  
授の研究室は、腕の筋肉を  
動かして筋電位（筋肉内を  
流れる微弱な電気）を計測  
し、義手などに応用する研  
究について説明した。

見学した佐藤陽さん（東  
奥義塾高1年）は「いろい  
ろな研究を見て、進路の参  
考にしたい」、佐藤隼さん  
（同）は「志望は機械工学  
系。自分に合った大学を見  
つけたい」と話していた。

新型コロナウイルス感染

拡大のため、2020、21  
年はウェブ対話方式で開催  
した。9日のウェブ対話の  
一部は当日申し込み可能。  
サークル紹介などの動画  
は、大学ホームページから  
通年で視聴できる。

（赤田和俊）

弘  
前

弘前大学は8日、3年ぶ  
りとなる現地対面型のオー  
プンキャンパスを大学構内  
で開催した。事前に申し込  
んだ高校生ら約5200人  
が大学の雰囲気や研究を体  
感し、進路選択に生かした。

9日はウェブ対話方式で実  
施する。  
同大学の全5学部と大学  
生協は、文京町と本町の両  
キャンパスを会場に、模擬  
講義や実験・実習体験、学  
校生活相談会など356の  
プログラムを提供した。  
理工学部の花田修賢教授  
の研究室は、レーザーでシ

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が  
利用を許諾したものです。

東奥日報社に無断で転載することを禁止します。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r\_koho@hirosaki-u.ac.jp